

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公表番号】特表2006-526595(P2006-526595A)

【公表日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-046

【出願番号】特願2006-508325(P2006-508325)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/085 (2006.01)

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

C 0 7 D 333/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 13/10

A 6 1 P 13/08

A 6 1 K 31/085

A 6 1 K 31/4535

C 0 7 D 333/56

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月10日(2010.11.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

個体における骨盤痛を伴うまたは伴わない下部尿路症の治療または予防に有用な医薬組成物の製造のための、選択的エストロゲンレセプターモジュレーターまたはそれらの薬学的に許容可能な塩の使用であって、選択的エストロゲンレセプターモジュレーターがフィスペミフェンであり、該下部尿路症が、男性個体における膀胱／尿道共同運動障害、膀胱首共同運動障害、ヒンマン症候群、無菌性前立腺炎、圧迫性前立腺炎、三角炎およびオーチアルギアからなる群より選択される使用。

【請求項2】

前記骨盤痛が、男性個体における無菌性前立腺炎、圧迫性前立腺炎、プロステートジニア、尿道症候群、三角炎、またはオーチアルギアに関連する請求項1記載の使用。

【請求項3】

有効量の選択的エストロゲンレセプターモジュレーターまたはそれらの薬学的に許容可能な塩を含む、骨盤痛を伴うまたは伴わない下部尿路症の治療または予防のための医薬組成物であって、選択的エストロゲンレセプターモジュレーターがフィスペミフェンであり、該下部尿路症が、男性個体における膀胱／尿道共同運動障害、膀胱首共同運動障害、ヒン

マン症候群、無菌性前立腺炎、圧迫性前立腺炎、三角炎およびオーチアルギアからなる群より選択される医薬組成物。

【請求項 4】

前記骨盤痛が、男性個体における無菌性前立腺炎、圧迫性前立腺炎、プロステートジニア、尿道症候群、三角炎、またはオーチアルギアに関連する請求項3記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

流速

尿流速の減少が、排尿問題の明確な兆候である。Neodes 処理は流速を減少させ、SERM は流速を正常化し、このことは、排尿水力学における陽性の効果を示唆している。フィスペミフェンまたはラロキシフェンでの処理によって、新生児エストロゲン化ラット、または非エストロゲン化ラットにて、10 mg/kg の用量で、最大（表 3）および平均（表 4）流速が共に増加した。非エストロゲン化ラットにおいて、1 mg/kg の用量では差は見られなかった。新生児エストロゲン化ラットには、10 mg/kg の薬物処理のみを与えた。新生児エストロゲン化ラットは、非エストロゲン化ラットよりも低い流速を示した。